

ブリッジサロン会場 質疑応答 ライブ視聴者・会場参加者からの質問

2025 年 9 月 27 日開催（9068）丸全昭和運輸

お時間の都合でご紹介できなかったご質問へのご回答

サステイナブルの話がありましたが、EVトラック導入も考えられるのですか。

- 弊社でも EVトラックの導入を一部試験的に進めております。

新規顧客の開拓はどのように行っていますか。

- 既存荷主・取引先からのご紹介、金融機関からのご紹介、ホームページ等を利用して新規顧客へのアプローチを行い、営業活動を推進しています。

配当利回りが低いように思うのですが、配当性向の向上や DOE の導入については考えていますでしょうか。

- 第 9 次中期経営計画中に配当性向 35%の達成を目指しております。DOE については、現時点では、安定した配当の維持を重視しているため、配当性向を基準としています。

御社にとっての一番のリスク要因は何だと考えていますか。

- 気候変動等による国内・国際物流の回復遅延のリスクや、資源高の継続や金融不安・相互関税（トランプ関税）による世界的な経済状況の悪化による、既存荷主の生産調整等の貨物取扱い減少のリスクなどが主なリスク要因となります。

業績好調なのは外部要因もありますか。内部要因が大きいのでしょうか。

- 弊社の顧客の大半は BtoB 企業であるため、外部環境の変動により業績も相当程度影響を受けますが、3PL 業務の拡大や危険物倉庫を中心とした拠点の拡充、M&A による内部要因も業績に大きく寄与していると考えております。

貴社の長距離輸送はどのようにしておこなっているのですか。途中で運転士が交代するケースもあるのですか。

- 弊社では、原則として運転士が途中で交代する形はとっておりません。運転士は国が定める「改善基準告示」を遵守し、適切な休憩・休息を確保したうえで安全運行を行っています。また、運行計画の段階で労働時間や運転時間が基準を超えないよう管理し、無理のない長距離輸送を徹底しています。

- IT化にも積極的に取り組んでおり、ITドラレコを導入しています。運転士のわき見や眠気、携帯操作などの不安全運転をAIが検知し、管理者がパソコン上でリアルタイムに状況を把握できる体制を構築しています。これらの機器の活用により、事故の未然防止と更なる安全管理の強化を図っています。

出勤時のアルコール検知はどのようにしているのですか。

- トラックに乗務する運転士は、法令で定められている点呼を出発前と帰着時に行っており、点呼時にアルコール測定器を使用しアルコールチェックを実施しております。
- また、一部営業所ではパソコンを使用したWEBにて遠隔地の運行管理者との遠隔点呼も実施しておりますが、その際は、運転士のアルコール測定器のデータが運行管理者に送信される仕組みになっております。